



メンバーシップ

第6回はアーツ前橋のメンバーシップ制度について紹介します。
メンバーシップとは、多くの人にアーツ前橋を活用していただくための会員制度です。メンバーになることで、年会費に応じてさまざまな特典を受けることが

アーツ前橋探検

vol.6



できます。

例えば、入会后1年間は展覧会に何度でも無料で入場できたり、館内に併設されるカフェやショップで割引を受けることができたりするなど、アーツ前橋をお得に利用できます。また、メンバー限定のイベントに参加することで新たな交流の輪を広げ、年に数回送付される会報を通じて最新の情報をキャッチするなど、作品を鑑賞するだけでは分からないアーツ前橋の魅力を発見できるかもしれません。さらに市民参加の仕組みの一つとして、アーツ前橋の活動を支援してもらおうという側面も持っています。メンバーからの年会費は、アーツ前橋が実施するさまざまな活動に反映されます。メンバーシップをとおして、より多くの人にアーツ前橋を支えていただきたいと思います。
メンバーシップの申し込みはグラウンドオープン後にアーツ前橋の窓口で受け付けます。詳しい内容が決まりましたら、本紙やアーツ前橋ホームページなどでお知らせします。

問い合わせは
アーツ前橋 ☎027-2300-1144

大家族の絆がもたらした優勝



前橋育英高誠心寮の寮母

荒井寿美世さん 49歳
上新田町

夏の甲子園で、初優勝を果たした前橋育英高硬式野球部。監督の荒井直樹さんの妻、主将の荒井海斗さんの母、そして、部員23人が生活する誠心寮の寮母として、彼らの活躍を見守ってきた。

「優勝が決まったときはうれしさを超えて、頭の中が真っ白に。夢の中にいるような感覚でした。皆さんも応援していただき、本当にありがとうございました」
寮母の朝は早い。午前4時に起床し、朝食の用意、寮内の点検、買い出し、夕食・風呂の用意などを行い、家事はその後。就寝はいつも日付が変わるころで、遠征のときは寝る間がないほどだ。
「ハンバーグを作るときに使うお肉は8キロ。焼くだけでもひと苦労です。でも、食事練習の一環。部員たちの体づ

くりのためにも、手は抜きません。いつも主人と相談しながら体調に合わせた料理を作るようにしています」

元々は専業主婦だったが、夫の監督就任時に「目指したいチームのために協力してほしい」と頼まれ、誠心寮の寮母に。野球だけでなく、人間性・家族愛を育むことにも重点を置き、夫婦二人三脚で部員たちを我が子のように育ててきた。

「親も含めてみんな大家族だというのが私たちの信念。この優勝が、私たちが目指してきたものは正しかったと証明してくれました。部員たちに本当にありがとうと言いたい。私たちの宝物です」と笑顔で語ってくれた。

日本一のチームを支える母の笑顔は、やはり日本一まぶしかつた。



まちなかに子どもが大集合

8月23日と24日に、前橋プラザ元気21を中核としたまちなかで、夏休みキッズフェスタを開催しました。工作や実験、ダンスなど、楽しいイベントが盛りだくさん。多くの子どもたちが訪れ、夏休みの楽しい思い出をつくりました。



創エネ事業の輝かしい第一歩

市有地を活用した本市の「創エネ」事業の第1号として、まえばし堀越町太陽光発電所「サンパワーほりこし」を9月1日に開所しました。想定年間発電量は84万kWhで、約240世帯分の電力使用量に相当。電力供給や自然エネルギーの学習などに利用します。



豊かな緑の中でわくわく体験

敷島公園で8月25日、ホリデーインまえばしを開催しました。豊かな緑の中で、乗馬体験や工作、ダンスなど多彩なイベントが行われ、夏休みを利用して訪れた家族連れで会場は大盛況。自然や動物との触れ合いを、子どもたちは目を輝かせて楽しんでいました。



西消防署でふれあい広場

西消防署で8月25日、消防ふれあい広場を開催しました。放水体験や地震体験、ミニ消防車の試乗、子ども用消防服の試着など盛りだくさんのイベントに子どもたちは大喜び。多くの家族連れが訪れ、楽しみながら消防士や救急救命士の仕事を学びました。